

新年にあたって



参議院議員・薬剤師 神谷政幸

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より温かいご支援を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして、深く御礼を申し上げます。

昨年の通常国会の厚生労働委員会において、医薬品の安定供給問題について関係者の疲弊はピークに達しており、一刻も早い状況の改善が必要であることを質疑の中で訴えました。その後、状況がさらに悪化したことを受け、国会終了後も自民党本部における部会や議連等を通して、また関係省庁等に対し、現場の状況を伝えると共に、問題解決のための対策を取るよう訴え続けました。秋の臨時国会の厚生労働委員会でも医薬品供給問題について言及し、政府に対してしっかりと支援をお願いすると共に、想定される今後の状況に対して、後手に回らないよう要請しました。新しい年を迎えましても、医薬品の安定供給等様々な問題に対して、引き続きしっかりと対応して参る所存です。

今後、電子処方箋の本格運用によって薬の重複チェックが可能となり、マイナポータルから収集される薬剤情報や特定健診情報等、ネットワークを通じた様々な情報は拡大すると思われれます。薬剤師による細やかな患者情報の収集と、患者さんに寄り添った服薬指導にデジタル情報が加わり、薬物療法の質はさらに向上し、その先には、共に標準化された電子カルテと調剤録の共有や、電子化されたトレーシングレポートの活用による、副作用対策や医療の適正化が期待されます。

本年も薬剤師の未来に向けて、しっかりと仕事をして参る所存です。引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

日本薬剤師連盟の先生方の益々のご活躍と、会員の皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。